

■ 2023 年 12 月支給賞与について 労使協議会 各人からのコメント

【センチュリー：嶋田社長からのコメント】

組合員の皆さまには、毎日に奮闘に対し心より感謝申し上げます。
2023 年度は、グループ企業としての標準装備を完成させ、稼ぐ会社への転換を目指し、また〈シン・バリューチェーン〉の確立へ向け全社一丸となり取り組んで参りました。但し、弊社を取り巻く環境は依然として厳しく、10 月までの業績は減収・減益 予算未達の状況ですが、皆さんと築き上げてきた新しい会社の形の成果は今後を表れ年度末の業績は当初予算を達成する見込みです。



よって、2023 年度の労使合意に基づき、2023 年 12 月賞与支給要求に対して満額の回答をさせていただきます。年間最大の山場を皆で乗り越えていきましょう。

【労働組合：磯原委員長からのコメント】



早期のご回答を頂きありがとうございました。

今回の賞与は、22 年度労使協議に基づき、センチュリー社として初めての「支給表」に基づく内容となり、一定の安心感を確保することができるのではないかと思います。下期も中間を過ぎ、年末年始を挟んでの繁忙期に突入することになりますが、そこの業績が 24 年 6 月賞与に反映され、メンバーのモチベーションに繋がることを期待しています。

また、評価運用については、その結果について評価分布も含めて確認してまいります。制度上はポイント換算した上で 4.1 ポイント以上となっておりますが、成果発揮度合いに応じて、S 評価などの高い評価も含めて適正に運用されるようよろしくお願いいたします。

そのためには、メンバー一人ひとりが働く環境、特に働きやすい職場風土づくりが重要だと認識しています。この点はグループ全体で取り組んでおり、労使共同宣言の発信や e ラーニングによる知識習得・意識改革を進めています。センチュリー社においては、特に所属内・所属間や個人間での円滑なコミュニケーション、ステージ B を中心とした人材育成に繋がるマネジメント意識が求められていると感じています。

「さん付けの徹底」「目を見て挨拶をする」「丁寧な言葉で話す」このような当たり前のことの積み重ねが、「やりがい・働きがい」や「働きたい会社」の実現に繋がると思います。今一度、風通しの良い社内風土やなんでも言い合える職場環境の実現に向けて、労使で協力して取り組んでいきたいと考えます。